

## 第5回 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日時：平成27年9月11日（金）  
18時30分～20時30分  
場所：名寄庁舎4階大会議室

出席者：扇谷委員長、東野副委員長、今井副委員長、尾矢委員、大沼委員  
安藤委員、東委員、中村委員、野間井委員、田中委員

オブザーバー：北海道上川総合振興局 清水目部長

名寄市：加藤市長、橋本副市長、久保副市長、小野教育長、臼田総務部長、  
三島市民部長、田辺健康福祉部長、川田経済部長、中村建設水道部長  
小川教育部長、馬場こども・高齢者支援室長、水間営業戦略室長、  
木村財政課長、金須企画課長、渡辺企画課主幹、菊池企画課主査

### 1 開 会

### 2 市長挨拶

### 3 協議事項

#### (1) 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

##### ● 質疑

- （委員）名寄産業高等学校の卒業生は就職率が高く、地元志向が強いことから、人材確保のための施策を検討すべきではないか。
- （加藤市長）現在高校のあり方検討会で地域産業・ニーズに合うものになるよう議論中である。地元雇用と密着するものであり、総合戦略に搭載を検討する。
- （委員）雇用・人材確保に関する施策に、高校生についても記載できた方がよいと考える。また、安定雇用に繋がる施策が必要かもしれない。
- （加藤市長）総合戦略は市独自の考えを発信していくことが重要と考えている。また、国や北海道も求めていると思う。

- （委員）柱の目標値の定め方は難しいが、重要だと思う。具体的な数字だとわかりやすい。
- ・（事務局）全庁で検討中であるが成果目標にあたるものを示したい。
  
- （委員）総合戦略と総合計画との関係性が重要になる。K P I を達成するための、財源措置は大丈夫なのか。
- ・（事務局）国の財政支援が見えていないが、人口減少対策で、早急に対応が必要なことから実施していく。
  
- （委員）総合戦略に搭載された事業で、総合計画に搭載されないものはあるのか。
- ・（事務局）個別具体の事業は見えていないが、人口減少対策で総合計画に先だって実施するものが総合戦略であるので、当然、総合戦略搭載事業は総合計画でも重要施策として搭載されると考える。
  
- （橋本副市長）総合戦略は総合計画に搭載する。財政面や対象が見えていないが、中期財政計画を見て実施する。財政面、制度設計できていないものあるわけだが、総体的に実施していきたい。
  
- （委員）医療福祉分野の求人が多く、ミスマッチが起きている。総合戦略でも医療福祉分野の人材確保を明確に記載したほうがよいのではないか。
- ・（事務局）雇用施策は、医療福祉、建設業の人材不足とミスマッチを解消するものが求められる。医療福祉は大学の施策、建設業は労政で対応したい。
  
- （委員）雇用統計でも、介護、建設土木の求人が大きなミスマッチが生じている。名寄市だけではないが、事務局には施策含めて検討をお願いしたい。
  
- （委員）職の安定が必要である。年間通して安定して仕事があれば、雇用もできるし賃金も支払える。行政は工事発注のバランスを考えてほしい。
- ・（事務局）仕事が無いと人材確保、技能承継できないため住宅関連リフォーム事業などで仕事を増やし技能承継・人材育成を図りたいと考えている。
  
- （委員）年間を通してバランスの良い仕事量になるよう、公共事業の発注時期などを考えて欲しい。
- ・（事務局）冬季施工は経費の面から難しいと考える。

- （委員）登別市では、リフォーム用のプレミアム商品券があった。予算によっては検討できるか。
- （委員）8月広報で人口増加となっていたが要因は何か。
- （加藤市長）名寄駐屯地の新規入隊が人口増につながったと考える。近年、自衛隊員の単身赴任が増えている可能性がある。自衛隊員に選ばれる子育て・教育環境が求められる。
- （清水目部長）基本目標とK P Iが同じにはならない。北海道の総合戦略は予算時に優先施策を決定する。地域の要望・要請を総合戦略に搭載することも可能である。
- （加藤市長）総合戦略搭載を検討しており、関係機関と調整中の案件もある。また、高等学校に関係するものも検討している。次回は、これらの検討中の案件とともに、人口ビジョン案も示していきたい。

## 5 閉 会